

令和7年度第3回_川越市障害者施策審議会 会議録

開催年月日	令和7年11月21日（金） 10時30分～12時00分
開催場所	川越駅西口 U_PLACE 3階 会議室
出席委員	高橋会長、大西委員、加藤委員、大野一美委員、大畠委員、樺村委員、山田委員、野沢委員、長谷部委員、岡村委員、飛松委員、柳井委員
事務局	福祉部 新井部長 福祉部障害者福祉課 岡安課長、木村副課長、小沼副主幹、田中主査、細村主任、 小野寺主任 こども未来部療育支援課 川上課長 保健医療部 若林部長 保健医療部 高齢・障害医療課 岩田課長、野原副主幹、原主任
欠席委員	増田副会長、大塚委員、氣仙委員、小川委員、大野操委員、峯岸委員、栗林委員
傍聴人	1名
議題	「障害福祉に関するアンケート調査」の中間報告について
報告	(1) 障害者支援計画の進捗状況について (2) 重度心身障害者医療の見直しについて
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・川越市障害者施策審議会委員名簿 ・資料1 アンケート結果（中間報告）の概要について ・資料2 川越市の障害福祉に関するアンケート報告書（中間報告） ・資料3 次期計画策定に向けたスケジュールについて ・資料4 障害者支援計画（R6-R8）進捗状況調査結果 ・資料5 重度心身障害者医療費支給制度の見直しについて（報告） ・参考1 計画の評価方法について

審議結果概要	<p>主に次のような意見が出された。</p> <p>■議題：「障害福祉に関するアンケート調査」の中間報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障害者週間の集い」が、当事者や市民も含めて、認識されてなかった。国と一体となって周知をお願いしたい。 ・「障害者週間の集い」について、今後は商工会議所等の様々な団体に周知や運営の協力を呼びかけていくような取組を検討していただきたい。 ・障害者は視覚や聴覚等、情報が限られてしまっているところに問題があるのではないか。この点を施策に反映していただきたい。 ・精神障害者の就労率を上げるためには、職場の理解や医療と連携したシステム等、障害者の方の体調を考慮しながら働けるような環境作りをしていく必要がある。 ・グループホームに入居して最終的に自分で暮らしてみたいという方を支援するような施策も検討いただきたい。 ・自由意見についても、次の施策に繋げていただきたい。 ・市の障害者施策の満足度について、満足度が下がった要因を今後分析していただきたい。 ・市の取り組みで満足しているという回答が少ないものを重点的に取り組んでいく必要があると考える。 <p>■報告事項（1）障害者支援計画の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別解消や社会参加がC評価となっている。「障害者週間の集い」も含めてもう少し地域にアピールしていくことが必要と考える。共存共栄共生の仕方を考えて、施策に上げるようお願いしたい。 ・達成率100%を達成したものは、新たに次の段階の目標を設定していただきたい。 <p>■報告事項（2）重度心身障害者医療の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能なら撤廃を求めたいが、見直しを実施するなら、該当者には丁寧に説明いただきたい。 ・償還のような後で戻してもらうこともご検討いただきたい。 ・今回の改正は妥当ではないかと感じる。 ・実施された後、どのような影響があったかは追っていただきたい。
---------------	---

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	【開会】
会長	【会長挨拶】
事務局	【会議の成立確認】 【資料確認】
会長	【会議公開の承認】※傍聴者 1名
事務局	【議題 「障害福祉に関するアンケート調査」の中間報告について】 資料 1、2、3に基づき説明
会長	議題について事務局より説明をいただいた。意見、質問等あるか。
委員	「障害者週間の集い」が、当事者や市民も含めて、認識されてなかった。 想像するに施設利用者は障害者週間の集いの販売等があり、障害者団体も障害者週間の集いを宣伝した関係で認識している。 それ以外の方に認識がされてないということではないか。 もう少し地域に知られて、そして地域の取組になっていくような障害者週間の集いになっていただきたい。 共生社会にも寄与できる取組だと考えているため、今後「障害者週間の集いを認識している」という回答が伸びていくよう、国と一体になって周知等を行ってほしい。
事務局	障害者週間の集いは、市の広報誌に載せるとともに市のホームページや自治会への周知も行っている。 今後、障害者週間の集いをより多くの方に知っていただけるように取り組んでいきたい。
委員	障害者週間の集いは、現在川越市と社会福祉協議会と、障害者団体で運営している。 今後、施設や商工会議所、法人会等の様々な団体に周知や運営の協力を呼びかけていくような取り組みを検討していただきたい。
事務局	来年度は、より集客が見込まれるウェスタ川越での開催を予定している。色々な取組を考える中で、商工会議所やその他の団体に広げられるかということも含めて検討していきたいと考えている。
委員	問26 「現在の仕事はどのようにして見つけましたか」について。 仕事を見つけた方法は理解したが、具体的な就職先で把握している

議事内容																									
発言者	議題・発言内容																								
	ものがあれば教えていただきたい。																								
事務局	<p>具体的な就職先については、手元に資料がないため、お調べして後日共有させていただく。</p> <p>■（追記）具体的な就職先での仕事内容</p> <p>令和5年1月に実施した「就労支援事業利用登録者現況調査」において、具体的な企業名は把握できていないが、就職先での主な仕事として回答があったものは次のとおり。</p> <table> <tbody> <tr> <td>ア 清掃</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>イ 事務・事務補助</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>ウ 品出し・袋詰め・仕分け・運搬</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>エ 農園・農作業</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>オ 軽作業</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>カ 製造</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>キ 調理・調理補助</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>ク 介護・看護</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ケ レジ・接客</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>コ その他</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>サ 無回答</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計 197人</td> </tr> </tbody> </table>	ア 清掃	39人	イ 事務・事務補助	38人	ウ 品出し・袋詰め・仕分け・運搬	29人	エ 農園・農作業	18人	オ 軽作業	14人	カ 製造	11人	キ 調理・調理補助	9人	ク 介護・看護	8人	ケ レジ・接客	4人	コ その他	17人	サ 無回答	10人		計 197人
ア 清掃	39人																								
イ 事務・事務補助	38人																								
ウ 品出し・袋詰め・仕分け・運搬	29人																								
エ 農園・農作業	18人																								
オ 軽作業	14人																								
カ 製造	11人																								
キ 調理・調理補助	9人																								
ク 介護・看護	8人																								
ケ レジ・接客	4人																								
コ その他	17人																								
サ 無回答	10人																								
	計 197人																								
委員	<p>3点お伝えしたい。</p> <p>1点目、障害者の集いの障害者の理解について。</p> <p>当事者の認知度が低いというのは、情報収集能力に障害があると考えられる。</p> <p>障害者は視覚や聴覚等、取得できる情報が限られてしまっているところに問題があるのではないか。</p> <p>この点を施策に反映していただきたい。</p> <p>2点目、精神障害の方の就労について。</p> <p>精神障害の方は年齢層が若いにもかかわらず収入が低く、日中家で過ごしてといいう若い方の割合が多い。</p> <p>一方で、就職したいといいう希望があり、なおかつ定着率が低いとともに読み取れる。</p> <p>つまり、職場でうまく定着できない方が多いということで、就労率</p>																								

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>を上げるためにには、職場の理解や医療と連携したシステム等、障害者の方の体調を考慮しながら働くような環境作りをしていく必要があると考える。</p> <p>3点目、地域移行について。 グループホームに入居して最終的に自分で暮らしてみたいという方を支援するような施策も検討いただきたい。</p>
事務局	<p>まず1つ目の情報アクセシビリティについて。 現計画では、視覚障害の方に向けて新たに施策として載せた事業がいくつかあるが、実際には思うように進められていない部分がある。現計画の計画期間の3年間でベースを整えて、次期計画では実行性のある形で反映させていきたい。</p> <p>2つ目の精神障害の方の就労の部分について。 「就労の意向はあるが就職につながっていない人」がターゲットになるが、今回の調査を分析してみると、「仕事をしていない人」で「就労の意向がある人」はかなり少ない傾向にあった。今後もう少し深く分析を進めて、次期計画でどういう方をターゲットにして施策を当てていくかを検討したい。</p> <p>3つ目地域移行について。 グループホームから最終的に地域へ移行するという形は市も考えているところであるため、次期計画の策定の際には、改めて施策として反映できる形を検討したい。</p>
委員	<p>もう1点、自由意見を読んだが、いろいろご提案があった。 自由意見についても、次の施策に繋げていただけるのか。</p>
事務局	今後の施策等の検討材料としたいと考えている。
委員	<p>問8の障害支援区分について伺いたい。 障害支援区分とは何かが伝わりづらく感じる。 アンケートをとる際には、区分1はどの程度等の説明があったのか。</p>
事務局	基本的にサービスを利用している方は受給者証が発行されており、そこに区分の記載があるため、アンケートには説明の記載はしてい

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	ない。
委員	<p>2点伺いたい。</p> <p>1点目は資料1概要の12ページ(2)市の障害者施策の満足度がある。</p> <p>満足度していない割合が記載されているが、前回アンケートと比較して「満足している」と回答した障害者手帳所持者が先ほど前回と比べて5%下がったと伺ったが、満足度が下がった要因はどのような部分と考えているか。</p> <p>2点目は、強度行動障害の方や重度の知的障害の方たちの行き場と暮らしの場の保障について。</p> <p>現状不足しているのか、データがあれば教えていただきたい。</p>
事務局	<p>1点目について、満足度が下がった要因の分析については今後行っていく。</p> <p>2点目について、正確なことは把握できていない。</p> <p>アンケートとは別に行っている利用者調査ではグループホームの利用率は99%になっている。</p> <p>【※訂正：利用率ですが、正しくは93.4%でした。失礼しました。】</p> <p>川越市はここ5、6年で施設がかなり増えている状況ではあるが、重度の知的障害の方や強度行動障害の方、医療的ケア児者になると行き場所がなくなることが課題であると、市として認識している。</p>
委員	今回のアンケートの中で、行動障害の方たちがグループホームを希望どおり利用できているかを読み取れる部分があったか伺いたい。
事務局	アンケート調査では「行動障害の方」が特定できる形で設問を設定していないため、把握できていない。
委員	資料2 間59 市の取り組みで満足していることについて。 満足しているという回答が少ないものとして、①入所施設の整備、②グループホームなどの地域で生活できる住環境の整備、③重度心

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>身障害者の受入先や医療的ケアを受けられる施設の整備、④在宅サービスの充実、⑤災害時の支援体制、⑥外出の移動の支援、⑦介助者への支援が挙げられる。</p> <p>ここから重点的に取り組んでいく必要があると考える。</p>
会長	次に報告事項 1 障害者支援計画の進捗状況について移らせていただく。
事務局	<p>【報告 (1) 障害者支援計画の進捗状況について】</p> <p>資料4に基づき説明</p>
会長	<p>報告 (1) について事務局より説明をいただいた。</p> <p>意見、質問等あるか。</p>
委員	<p>6 障害(児)福祉サービス等の見込量と実績値について伺いたい。</p> <p>先ほどのアンケート調査でも重度の知的障害の方や強度行動障害の方、医療的ケア児者になると行き場所がなくなることが課題として認識していると話があったが、市内のグループホームは、もう満員ということでしょうか。</p>
事務局	<p>グループホームの空き状況は、令和7年3月時点の調査においては、ほとんどが埋まっていて99%を超えるような状況である。</p> <p>【※訂正：正しくは93.4%でした。失礼しました。】</p>
委員	<p>「5 成果目標の評価」について伺いたい。</p> <p>「(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行」に「地域生活移行者数」とある。</p> <p>どこからどこに移行した方をカウントしているのか。</p> <p>グループホームは地域で生活しているという定義でよろしいか。</p>
事務局	<p>いわゆる入所施設、障害者支援施設からの地域生活への移行の人数であり、精神科病院からの地域移行は含まれない。</p> <p>グループホームの定義はお見込のとおり。</p>
委員	「5 成果目標の評価」について

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	「（4）福祉施設から一般就労への移行等」で「一般就労へ移行した者の割合が5割以上の事業者の割合」とあるが、5割以上になった事業所は、何かインセンティブはあるのか。
事務局	<p>就労定着支援事業所では、就労定着率に応じて就労定着実績体制加算という加算をとることができます。</p> <p>【※訂正：上記は「就労定着率（定着率が7割以上の事業所の割合）」の説明でした。正しくは、「就労移行支援事業所では、一般就労へ移行した者の割合に応じて基本報酬の単価が上がる仕組みになっている。】になります。】</p>
委員	<p>同行援護について、伺いたい。</p> <p>障害（児）福祉サービス等の見込量と実績値を見ると、同行援護を使う人が増えているように見えるがどうか。</p> <p>また、今後同行援護のサービス利用を増やしたいという人もいるが、申請するだけ同行援護を使わせていただけるのか。</p>
事務局	<p>1点目の同行援護を使う人が増えているかについて、令和6年度実績の同行援護が増えており、なおかつ見込み量を超えている。</p> <p>比較を見ると、時間数でいうと324時間、実人数でいうと8人、1ヶ月当たり増えている。</p> <p>行動援護は時間数446時間で実人数が9人というところでの推移として見込みでも上回って利用者が増えている。</p> <p>2点目の申請した分同行援護のサービスを使えるかについては、本日担当者不在のため、後日回答する。</p> <p>■（追記）申請するだけ同行援護を使えるかについての回答 サービスの支給量については、本市が定める支給決定基準に基づき、支給の要否や支給量を決定します。支給決定基準では、同行援護の標準支給量を原則、月30時間としています。 ただし、基準で示される標準支給量が支給量の上限となるものではなく、必要に応じて個別に適切な支給量を定めることとしています。</p>
委員	2点伺いたい。

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>1つ目は計画相談について。</p> <p>令和6年度目標値に達していない数値だが、計画相談の事業数の不足はどのように考えているのか。</p> <p>2つ目は、川後市の障害者計画の一番の根幹は障害のある人たちも地域の中で生きる共生社会を目指していくことだが、差別解消だと、社会参加の拡充がC評価になっている。</p> <p>C評価の理由はどのようなものか。</p>
事務局	<p>1つ目の計画相談の不足について。</p> <p>市では令和3年度から計画相談事業所の拡充について取り組んでいる。</p> <p>令和3年度計画相談が18事業所で相談支援専門員は40人程度であったが、令和7年4月で26事業所、相談支援専門員は55人に増えてる。</p> <p>一方で、令和3年度33%程度だったセルフプランが、現在29%という状況であり、事業所が増えているが、それ以上に利用を希望する障害者の方が増えているという認識している。</p> <p>2つ目の達成度がC評価の要因について。</p> <p>主に評価は26ページの指標をもとに行っている。</p> <p>共生社会に関する差別解消等の施策は「基本目標1 誰もが安全・安心に暮らせるまち」に紐づいた評価の部分になる。</p> <p>その中で、「市民の障害者差別解消法の認知度」、「障害のある人が差別や偏見を感じたことがある割合」が共生社会のところと関連している。</p> <p>「障害のある人が差別や偏見を感じたことがある割合」を減らすことと、障害の人の理解を進めることができ、評価にもつながると考えている。</p>
委員	<p>障害者週間の集いも含め、もう少し地域にアピールしていくことが必要と考える。</p> <p>共存共栄共生の仕方を考えて、施策に上げるようにお願いしたい。</p>
委員	<p>目標値について伺いたい。</p> <p>達成率100%の指標があるが、これは新たに次の段階の目標値に変更するなどは考えてるのか。</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
事務局	<p>指標の数値が上げられるようなものは、新たな目標設定をしていきたいと考えている。</p> <p>しかし、例えば受診率100%が指標となっている事業については、100%を超える目標の設定が難しいため、目標値を据え置くような形になる。</p> <p>また、法令等で実施が定められている事業などは、市の努力によって実績値を上げるというのが難しい事業の目標値についても、変更することは考えていない。</p>
委員	<p>例えば「選挙における配慮」は、バリアフリー100%達成となっているが、実際現場で困ってる人はいる。</p> <p>そうした場合は、100%達成しているので目標を据え置きにするのではなく、次の段階の目標を設定していただきたい。</p>
事務局	今回の例だとハード面の整備以外の配慮の部分で活動指標自体を変更して次期計画に反映するということは考えられる。
会長	続いて報告事項（2）重度心身障害者医療の見直しについて
事務局	<p>【報告（2）重度心身障害者医療の見直しについて】</p> <p>資料5に基づき説明。</p>
委員	<p>この件は前もって障害者団体に話があった。</p> <p>800名ぐらいが今回対象外になる方で、金額は6400万から6500万ぐらいと聞いている。</p> <p>制度の見直しにあたっては、そもそもこの制度ができた理由から考えていただきたい。</p> <p>そして、執行が令和9年ということになっているが、できれば撤回していただきたいというのが、障害者団体からの意見である。</p> <p>対象外になる方は、それぞれ実情が異なるが、医療費負担が多くて3割、少なくとも1割負担するとなると年間で考えると大きな額になる。</p> <p>現在受けているものがなくなるというのは非常に厳しいと思うので事情を勘案していただき、撤廃を求める。</p> <p>見直しを実施するようなら、800名の方々それぞれに納得して</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>いただくような説明が必要になる。</p> <p>また可能であれば、償還のような後で戻してもらうこともご検討いただきたい。</p>
委員	<p>やまぶき会は来年の4月から精神障害者手帳2級も自立支援医療費が助成されるということで喜びの声がある。</p> <p>資料で精神病床の入院費用は助成対象外と記載されているが、他科の入院費も助成対象外ではないか。</p>
事務局	<p>重度心身障害者医療費支給制度において、精神障害者保健福祉手帳1級を受けている方の精神病床の費用に限定して助成対象外だが、それ以外の費用は助成対象である。</p> <p>例えば別の病気で別の病院に転院されて手術を受けたという場合には、その場で無料にはならないかもしれないが、領収書で償還払いを申請いただけたら、助成できる。</p>
委員	<p>重度心身医療は、条件はあるが、自己負担額がゼロになるという制度である。</p> <p>ただし、今回追加になる精神障害者手帳2級の方はあくまでも精神通院医療に係る自己負担額のみ対象ということなので、その点はよく周知していただきたい。</p>
委員	<p>国の機関で働いてきたが、条件はあるが身体障害者手帳4級まで自己負担額がゼロになるというのは聞いたことがなかったので、驚いた。</p> <p>身体障害者手帳4級で現在制度を利用している方は不安であると思うが、今回の改正は妥当ではないかと感じる。</p>
委員	<p>重度心身医療は都道府県の制度なので、都道府県によって対象者が異なる。埼玉県は制度に力が入っていると理解している。</p> <p>他自治体では一定額の負担があり、自己負担額がゼロになるのは47都道府県のうち10件ぐらいしか聞いたことがない。</p> <p>そのような点も今回の見直しに関係しているのではと感じている。</p>
事務局	障害者団体の方々は短期間でご意見まとめていただき、ありがと

議事内容	
発言者	議題・発言内容
	<p>うございます。</p> <p>物価高騰への配慮や廃止は厳しいという意見等もあり、また、対象の800の方々にも説明時間を確保する中で、令和9年8月1日からの見直しとした。</p> <p>来年の受給者証を交付する際等に受給者証と制度見直しの案内を同封する、またホームページや広報でも周知をしていくなど、丁寧に説明していく。</p> <p>40年近く身体障害者手帳4級（非課税者）の方を制度の対象としてきたが、現状川越市は県内でもかなり厳しい財政状況になっている。</p> <p>障害者の方々へのサービスも年々増加し、高齢者の方々が入っている後期高齢者の医療費の負担が10年で10億円以上増えている現状を踏まえ、制度自体を継続していくために、見直しせざるを得ない。</p> <p>皆様には非常に厳しい判断をさせていただくこととなるが、ご理解を賜りたい。</p>
委員	<p>今後制度の対象外になる該当者にできる限り細かく説明いただきたい。</p> <p>また、重度心身障害医療制度そのものを、埼玉県が続けられるかどうかというのも気にしている。</p>
委員	<p>先ほどのアンケートの中で、障害のある人たちの年収、特に知的の人たちの年収の低さがあった。</p> <p>知的障害の手帳の重度心身障害者医療費支給制度の対象は、Bまでで、Cは対象外となっている。</p> <p>Cまで対象を広げて欲しいが、今後精神障害手帳2級が対象になることは良かったと思う。</p> <p>心配なのは今後対象外になる身体障害者手帳4級の人たちが、在宅になって医療を使わなくなっていくこと。</p> <p>実施された後、どのような影響があったかは追っていただきたい。</p>
会長	<p>他に意見等あるか。</p> <p>ないようなので、報告事項は以上とする。</p>

議事内容	
発言者	議題・発言内容
会長	【その他】 その他、委員からの報告事項はあるか。
委員	特になし
会長	事務局から何かあるか。
事務局	・次回会議の日程について 次の会議は令和8年2月2日（月）開催予定。 会場含め、正式な案内は追って通知する。
会長	委員から質問等はあるか。
委員	特になし
事務局	【閉会】 以上で、令和7年度第3回障害者施策審議会を終了する。
	以上